

01 開催概要

東部まちづくりワークショップとは、東部地域のお住まいの方、東部地域のまちづくりに興味のある方にご参加いただき、現在策定中の東部振興構想に繋がるアクションのアイデア創出の取組です。
全3回のプログラムによるワークショップを、中部大学の連携・協力のもと、小牧勤労センターで開催中です。今回は第2回の様子をお伝えします。

日 時：2021年10月23日(土)
10:00~12:00
会 場：小牧勤労センター
参加者数：34名



当日のプログラム

第2回 まちで学ぶ
(東部地域で何が出来る?)

- オリエンテーション
- ゲームのカードづくり (魅力・課題の検討)
- 「メイキット」のゲームプレイ
- 全体共有
- ふりかえり・総括

02 オリエンテーション

中部大学 磯部教授から開会に当たってご挨拶を頂きました。東部地域生まれの名物がたくさん生まれることで地域経済の「循環」を生むこと、このワークショップの中でその芽が生まれることが期待されます。また、審議会でのこれまでの議論の内容についても共有しました。



03 ゲームのカードづくり (課題・魅力の検討)

まちなか発想ゲーム「メイキット」を実施するため、参加者の方々が感じている東部地域の魅力や課題をカード化しました。事前にアンケートを実施した中学生からの意見や、第1回ワークショップで出たたくさんの「できる」も組み込まれています。

▼中学生の意見や、第1回での意見の反映



04 「メイキット」のゲームプレイ

まちなか発想ゲーム「メイキット」は、2020年全日本ゲーミフィケーションコンペティションでグランプリを獲得しました。簡単にいえば、まちの中にある資源や魅力を使って様々な課題を抱えた人々の声にこたえるアイデアを発表するゲームです。制約のある手札の中からアッと驚くアイデアを「たくさん出せた人」が勝ちです。

カードゲームの形式を取ることで、大人は勿論、小さな子供でも参加でき、ならではの発想を沢山聞くことができます。当日の会場にもお子さんがいらっしやり、熱心に東部地域活性化のためのアイデアを聞かせてくれました。

▼小学生も積極的にアイデア出しに参加



下表は参加した皆さんから出たアイデアの一例です。Aでは銭湯・温泉というカードが使われることで一気に魅力的なアイデアになりました。Dでは、お金を草刈費用に直接充てることにとどまらず、社会起業家と農業自体を復興することで雑草を減らすという根本

的な解決に繋がるアイデアが出ています。手持ちのカードの中から発想することで、単純な発想に留まらずにアイデアが広がってきています。短い時間で全7チーム合計 75 個ものアイデアが集められました。

▼各グループのアイデアの一例

まちの声 (課題・お困りごと)	まちの資源	まちの魅力	アイデア
A 坂が多い	電車/ヘリコプター/銭湯・温泉	自然が多い	自然を守りつつ、交通の便を良くする。温泉を作って坂登りで疲れた体を癒してもらう
B 特産物の認知度が低い	コンビニ/外国人	象徴的な動植物 (桃)	まちの特産物 (桃など) をコンビニで売って、訪日外国人に積極的に魅力発信してもらう
C このまちに赴任してきたが出会いが少ない	ヘリコプター/地場産業/寺社仏閣	車を運転できる (第1回 WS)	婚活パーティーとして、ヘリコプターや車を使ってまちの資源を周遊する催し物を実施する
D 農業をする人が減って農地に雑草が増えてきた	1000万円 社会起業家	—	雑草を刈ってくれる人に補助金を出す→社会起業家に来てもらい、農業を復興する
E まちの中小企業が倒産していく	市長/地元出身芸能人/まちが舞台のドラマ	地域のひとと人のつながり (第2回 WS)	市長や地元出身芸能人に出演してもらい、地域のつながり・地域の良さをPRするドラマを作る
F 桃花台を考えるイベントをしているが集客が難しい	地域の特産品/歩行者天国	ローカルフード	ローカルフードや地域の特産品を提供するイベントを実施して、桃花台の魅力を知らってもらう。歩行者天国化する。
G 地域の催しが減っている	アーティスト/子ども/文化祭/地場産業	—	歩行者天国を活用し、アーティストを招待してイベントを行う。出店を利用し地場産業をPRする

05 今後に向けて

メイキットはアイデアの「発散」に適したゲームです。これで出たたくさんのアイデアの中から、「実際に小牧市と市民、事業者、団体、大学生と一緒に取り組んで行きたいと思えるものはあるか」、「アイデアを具体化するためにはどんなステップが必要か」をじっくり考えて「収束」を試みるのが次回、11/14(日)です。お楽しみに!

▼老若男女問わず立ち上がってゲームに参加

